

# 地学団体研究会第 78 回総会(つくば)

## 講演要旨集



2024年8月17日(土)~18日(日)

つくばカピオホール

主催:地学団体研究会

## 地学団体研究会第78回総会（つくば）

◆日程：2024年8月17日（土）～18日（日）

◆会場：つくばカピオホール

### 地団研 2024年総会（つくば）の日程

	午前	昼	午後		夜	
8/16(金)	プレ巡検（産総研地質標本館・国土地理院など5施設自由見学）					
8/17(土)	プレ巡検 （国土地理院など 5施設自由見学）	受付 12:00～ （ホワイエ）	シンポジウムⅠ 「地団研の今後の 普及活動」 13:00～15:00（ホール）	シンポジウムⅡ 「若手による 成果発表」 15:00～17:00（ホール）	ポスターセッション・ 団研写真展(ホワイエ) 夜間小集会 「応用地質研究会」	大コンパ （BBQ店）
8/18(日)	総会議事 9:00～12:00 （ホール）	ポスター セッション 12:00～13:00 （ホワイエ）	市民講演 13:00～ （ホール）	シンポジウムⅢ 「令和6（2024）年能登半島地震から 原発問題を考える」 14:00～17:00（ホール）	夜間小集会 「最新 地学事典」 （3F 中会議室）	
8/19(月)	ポスト巡検（筑波山・稲田花崗岩・鬼怒川小貝川低地・霞ヶ浦・福島原発の5コース）					

# 地学団体研究会第 78 回総会（つくば）講演要旨集

## 目次

### ○市民講演「「りんりんジオ散策」で訪ねる つくばの里山50万年の歴史」

日時：8月18日（日）13:00～14:00

「りんりんジオ散策」で訪ねる つくばの里山50万年の歴史—地球の未来を救うために、  
私たちにできること—：小玉喜三郎（筑波山地域ジオパーク推進協議会）・・・1

### ○シンポジウムⅠ「地団研の今後の普及活動—各地の実践からヒントをさぐる—」

日時：8月17日（土）13:00～15:00

趣旨説明・・・4  
東京日曜地学ハイキング —40年の歩み—：  
石田吉明（東京支部）・東京支部運営委員会・・・5  
神奈川地学ハイキング67回の歩み —1人でもできる普及活動—：  
後藤仁敏（神奈川支部）・・・9  
地ハイ9年の休止から新たな普及活動の再開へ—利根川の川原の石調査を足掛かりに—：  
矢島祐介（前橋支部）・前橋支部運営委員会・・・13  
十勝の自然史研究会 —市民主体の学習・創造・普及活動—：  
澤村 寛（北海道支部）・・・17  
バングラデシュの地下水ヒ素汚染・塩水化地域での現地NGOとの協力による安全な  
水利用の普及活動：  
松本和也（静岡支部）・応用地質研究会ヒ素汚染グループ・・・21

### ○シンポジウムⅡ「若手による成果発信—縦と横のつながり強化を目指して—」

日時：8月17日（土）15:00～17:00

趣旨説明・・・23  
地団研入会後に参加した活動紹介と若手会員の活動活性化のための提案：  
鳥越雄太郎（福島大学）・・・24  
信州大学教育理科教育コース学部層位構造地質学研究室の活動紹介：  
高野華純（信州大学）・・・26  
高校時代から続く地団研を通じた地学活動：  
小野沢凜久（信州大学）・・・28  
地学と私との関わり：  
遠藤純玲（茨城大学）・・・30  
研究同行から学んだこと・受賞のその後：  
金子朋紀（茨城大学）・・・34

## ○シンポジウムⅢ 「令和6（2024）年能登半島地震から原発問題を考える —地震災害の実態と原発立地、核のゴミ地層処分問題—」

日時：8月18日（日）14:00～17:00

趣旨説明	38
基調報告	
「令和6 年能登半島地震と原子力発電所の立地」	
立石雅昭（新潟支部）	39
一般報告	
①「令和6 年能登半島地震での新潟市の地盤の液状化」	
久保田喜裕（新潟支部）・2024 年能登半島地震、新潟県被害調査研究グループ	44
②「令和6 年能登半島地震から寿都・神恵内の地層処分を考える—寿都、神恵内村 文献調査報告書案の検討—」	
岡村 聡（北海道支部）	48
コメント	
③「原発敷地の耐震性を考える—埋戻土の変形問題—」	
塩野敏昭（長野支部）	52
④「令和6 年能登半島地震から核ゴミ地層処分を考える」	
赤井純治（新潟支部）	54
⑤「沿岸域の地盤隆起について—（測地データから）」	
小林和宏（長野支部）	58

## ○ポスターセッション

コアタイム：8月17日（土）18:00～20:00

8月18日（日）12:00～13:00

P01 兵庫県姫路市南東部、四郷町南山に分布する後期白亜紀火砕岩類の岩相層序と地質構造： 毛利元紀（大阪支部）・松原典孝（兵庫県立大学）・能美洋介（岡山理科大学）	60
P02 動物珪酸体（アニマル・オパール）の考古学： 宇津川徹（カテナ研究所）	61
P03 給源遠位域におけるラハール堆積物の最下部層および基盤層の未固結時変形構造 —愛知県知多半島、前期鮮新世大谷火山灰層の例—： 二村光一（刈谷支部）・森 勇一・田中里志（京都支部）・宇佐美 徹（刈谷支部）	62
P04 北海道・富良野岳北斜面のカーヴ状地形について： 金川和人（北海道支部）	63
P05 十日町市の鮮新統東川層に観察される生痕化石とノジュール： 生痕研究グループ（新潟支部）	64
P06 地質構造等を考慮した法面安定性評価手法の紹介： 阿部裕寛	65
P07 静岡県西部の更新統、小笠層群の層序と年代、堆積過程： 柴 正博・中本裕介（静岡支部）・大迫崇史（東京支部）・長橋良隆（福島支部） ・横山謙二（静岡支部）	66

P08	奈良県中西部に分布する溶結凝灰岩の巨礫を含む礫層： 佐藤隆春（大阪支部）・平谷計二・廣川信一・井上光司・杵保美智子・森 裕子・中谷奉行・ 岡本光雄・斎藤伊平・白髭照代・竹中光子・佃 慶子	6 7
P09	福島第一原発の現状と2023年後半から2024年前半の原発団研の活動： 柴崎直明（福島支部）・福島第一原発地質・地下水問題団体研究グループ	6 8
P10	統合物理探査による野尻湖近傍池尻川低地の浅部地盤物性構造モデリング： 稲崎富士（東京支部）・近藤洋一・関めぐみ（長野支部）・井内美郎（近畿支部） ・林 宏一	6 9
P11	山国川流域花崗岩類の岩相変化と変形： 柚原雅樹（九州支部）・川野良信	7 0
P12	日本の海浜砂—組成タイプの検討とその分布—： 別所孝範（和歌山支部）・中条武司（大阪支部）	7 1
P13	青森県下北半島西部に分布する”檜川層”のジルコンU-Pb年代： 根本直樹（青森支部）	7 2
P14	高等学校地学系部活動の微化石を使った研究例： 金子 稔（前橋支部）	7 3
P15	道路工事により露出した液状化・流動化現象を示す島根・三瓶火山噴出物： 山崎博史（山陽支部）	7 4
P16	常時微動観測により明らかになった下妻市鬼怒地区の旧河道の地盤構造： 赤澤光樹（茨城大学）、小荒井衛（茨城大学）、先名重樹（防災科学技術研究所）	7 5
P17	ヒマラヤで野外地学を学ぶ—第12回学生のヒマラヤ野外実習ツアー（2024年3月）報告： 吉田勝（大阪支部）	7 6
P18	福島県浜通りの双葉断層，塩ノ平断層において常時微動観測から地下構造を推定： 金子朋紀（茨城大学），小荒井衛（茨城大学），先名重樹（防災科学技術研究所）	7 7
P19	奈良県竹田川のルビーとサファイヤの成因について： 佐野佑斗、江森健太郎、小河原孝彦（新潟支部）	7 8
P20	関東平野西縁部，飯能層に含まれるホルンフェルス礫の供給源の推定： 関根 栄一（埼玉支部）	7 9
P21	長野—群馬県境、荒船—兜岩山周辺の新第三系—兜岩層の地質—： 兜岩層研究会	8 0
P22	仙台平野七北田川周辺の地下水塩水化調査のための地下地質解析： 大内啓輔・柴崎直明（福島支部）	8 1
P23	福島県浪江町における帯水層の特徴： 橋本大輝・柴崎直明・藪崎志穂（福島支部）	8 2
P24	東京都多摩地域東部におけるPFAS地下水汚染経路推定のための地下地質解析： 岡部貴大・柴崎直明（福島支部）	8 3
P25	東京都多摩地域西部におけるPFAS地下水汚染経路推定のための地下地質解析： 矢口晴梧・柴崎直明（福島支部）	8 4
P26	地中熱利用の普及に向けた水文地質情報整備—福島県会津・猪苗代地域における水文 地質モデルの構築—： 鳥越雄太郎・柴崎直明（福島支部）・石原武志（産総研）	8 5
P27	福島県における天然水素探索のための地下水水質解析： 佐藤史隆・柴崎直明（福島支部）	8 6
P28	福島第一原発における排水路および海水中の放射性物質濃度の季節変動と経年変化： 佐藤ひかる（新潟支部・筑波大学）・恩田裕一・津旨大輔（筑波大学）	8 7
P29	金剛萱遺跡の旧石器文化： 両角太一（大正大学）・金剛萱遺跡研究会	8 8
P30	群馬・金剛萱遺跡の第16回発掘調査： 野口智輝（大正大学）・金剛萱遺跡研究会	8 9
P31	石器石材に利用されたサヌカイト・安山岩—帯磁率による原産地推定—： 中村由克（明治大学黒耀石研究センター・長野支部）	9 0

P32 続・ゼロメートル地帯の水害対策を考えてみる：	
渡邊拓美（東京・千葉支部）	9 1
P33 埼玉県縄文時代の石器と石材—打製石斧，石皿，磨石および凹石—：	
松岡喜久次（埼玉支部）	9 2
P34 令和6年能登半島地震における新潟支部糸魚川班の活動：	
香取拓馬・竹之内 耕・小河原 孝彦・茨木 洋介・郡山 鈴夏（新潟支部）	9 3
P35 野尻湖層の脊椎動物化石の分布と古環境：	
近藤洋一（長野支部）・野尻湖哺乳類グループ	9 4